

株主メモ

上場証券取引所	〔 ジャスダック証券取引所
証券コード	〔 4318
株式公開日	〔 平成13年10月23日
事業年度	〔 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	〔 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	〔 毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〔 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〔 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
1単元の株式の数	〔 1,000株
発行済株式の総数	〔 19,098,576株 (平成21年3月31日現在)

- 【ご注意】1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

■特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取(買増)請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定*	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	<お手続き書類のご請求方法> ●音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-684-479 (通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

*特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

■証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。	

【本誌記載記事に関するお問い合わせ】 株式会社クイック 経営戦略室
TEL 06-6375-0061 FAX 06-6371-7429
E-mail info-kabu@919.jp

【IR情報メール配信サービスのご登録】 <https://www.dirnet.jp/4318>

クイックグループの情報サイト

- 株式会社クイック
⇒ <http://919.jp/>
- 転職×天職
⇒ <http://ten-navi.com>
- 看護roo!
⇒ <http://kango.919.co.jp/>
- 関西の会社ナビ - メーカー編 -
⇒ <http://west.company-navi.com/>
- 人事はヒトゴトにあらず / 採用と組織の課題解決
⇒ <http://happy.919.jp/jingoto/>
- 株式会社アイ・キュー
⇒ <http://www.iqiy.co.jp/>
- 人材バンクネット
⇒ <http://www.jinzai-bank.net/>
- 日本の人事部
⇒ <http://jinjibu.jp/>
- 株式会社ケー・シー・シー
⇒ <http://www.kcc-net.co.jp/>
- サンロクゴ
⇒ <http://www.weblife365.com/>
- ジョブステnet
⇒ <http://jobstnet.jp/>
- オシゴトパーク
⇒ <http://0451089.jp/>
- 金沢ブログ(エリアブログ)
⇒ <http://kanazawa.areablog.jp/>
- 株式会社キャリアシステム
⇒ <http://www.career-system.net/>
- 北陸×転職.net
⇒ <http://www.hoku-ten.net>
- 株式会社クイック・エリアサポート
⇒ <http://www.area-support.co.jp/>
- QUICK USA, INC.
⇒ <http://www.919usa.com/>
- 上海クイックマイツ有限公司
⇒ <http://www.919myts.com.cn/>

株主優待制度



毎年3月31日現在の株主名簿に登録された当社株式1単元(1,000株)以上を保有されている株主様を対象に、北海道・小樽の「ザ・ガラス・スタジオ」より、浅原千代治監修ガラス工芸品をお届けいたします。今年は写真のペーパーウェイトをお送りいたします。

Human Resources Solution



クイック グループ
2008 年度
株 主 通 信

第29期
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

JASDAQ
Listed Company 4318



2008年度決算のご報告

初夏の候、株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第29期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の株主通信をお届けし、決算の概況につきましてご報告いたします。

当連結会計年度におきましては、年度後半の米国金融市場の混乱に端を発する世界経済の急速な落ち込みに国内外の企業の収益が大きく影響を受けました。さらに景気悪化に伴う企業の採用意欲の急速な減退から雇用情勢も日に日に厳しさを増し、人材サービスを提供する当社グループにとっては非常に厳しい1年間となりました。

こうした中、当社グループにおきましては、企業の採用抑制による求人広告市場の急速な縮小により、リクルーティング広告事業が大きく後退いたしました。同様に、人材サービス事業におきましても採用基準の厳格化や派遣社員削減の流れを受け業績が低迷したことから公表計画の修正を三度行う等、株主の皆様にはご心配をおかけいたしました。

また、株主の皆様への利益還元に向け、自己株式の取得等にも取り組んでまいりましたが、期末配当を無配とせざるを得ない結果となりましたことにつきましても、この場をお借りしまして深くお詫び申し上げます。

2009年度におきましては、「事業モデルのイノベーション」を推進していく方針です。今回の経済悪化を受け顧客のニーズも大きく変化するものと考えております。既存のビジネスモデルや常識に固執するのではなく、顧客のニーズをいち早くつかむ感度と先見性を磨き、新たな価値を生み出す事業モデルの構築に取り組んでまいります。そのための事業資産が当社グループには既に存在しております。各事業間のシナジーを追求することで、他社にはない、クイックグループだけの事業モデルが創造できるものと考えております。

さらに拠点の統廃合や発行媒体の見直しをはじめ、役員報酬の減額や各種経費の圧縮等、経営のスリム化による収益力の強化につきましても継続して取り組み、真に強い組織づくりを行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

2009年6月



代表取締役社長 兼 グループCEO 和納 勉

□ 広告主体の事業が依然厳しい状況ですが、今後の展望はどのようになっていますか

A 広告売上が主体となるリクルーティング広告事業と情報出版事業につきましては、景況や競合他社の動き等業績が外的要因に左右されるケースが多く、2008年度はこうした影響を大きく受け業績が低迷いたしました。

このような状況に対して、リクルーティング広告事業におきましては、採用マーケティングサーベイ「Entry9」、心の状態診断プログラム「Mind Checkup」を、採用・組織コンサルティング商品として新たに発売いたしました。今後はこれらの商品を中心に新規顧客の開拓を強化するほか、主力商品である採用広告、さらには事業間シナジーを活かした人材紹介の提案等、クイックグループが持つ事業資産を最大限活用し、多様化する顧客の人材ニーズに応じてまいります。

今回の不況では多くの企業が雇用調整を迫られました。しかし、景気の回復に伴い今回の雇用調整で生じた人材不足を埋めるため企業の採用ニーズは上昇に転じるはずです。その時のためにも、今この時期に顧客との信頼関係を地道に構築し、そして「人材に関する課題解決はクイックグループ」というブランドを確立させることが重要だと考えています。

また、情報出版事業におきましても、株式会社ケー・シー・シーが新たにオープンさせた成果報酬型求人サイト「ジョブステnet」に代表されるように、紙媒体の広告売上主体という既存のビジネスモデルに縛られることなく、さらに新たな収益モデルを追求してまいります。そのための仕組みの一つとして、一般消費者と顧客企業、そして当社社員がブログを通じて対話ができるエリアブログというサービスも開始いたしました。地域の方々と顧客企業の生の声から、地域に求められ、受け入れられるサービスを提供する地域密着型の事業展開により競合他社との差別化を図ってまいります。

□ 人材サービス事業における、今後、注目のサービスについてお願いします

A 人材紹介事業におきましては、自社運営サイトである「転職×天職」に関するコンテンツの充実やプロモーションが実り、新規転職希望登録者数、アクセス数ともに順調に増加しております。しかし、2008年度につきましては、主力顧客層であった製造業界や金融業界、外資系企業が軒並み金融危機のあおりを受け、中途採用に慎重になり、登録者数の増加を業績に結びつけることができませんでした。こうした中、医療従事者の求人ニーズが高い水準で推移している

ことに着目し、看護師に特化した求人情報サイト「看護root」を、2009年5月にオープンいたしました。同サイトは、首都圏、関西、東海の3エリアで運営している病院や介護施設、クリニックの求人情報10,000件以上の中から、様々な条件を指定することで希望に沿った求人情報を検索、問い合わせできるサイトです。

2009年度につきましては、同サイトへの登録者数増加を目指すとともに医療分野での人材紹介サービスを強化し、さらに「転職×天職」や「関西の会社ナビ ーメーカー編ー」による従来からの人材紹介サービスの業績向上にも注力していきたいと考えております。

また、上海クイックマイツ有限公司が発行しております、上海の日系企業に勤務する10,000人以上のデータをもとにした給与水準の統計資料「日系企業 給与調査報告書 2008」に対する評価が高く、2009年度版につきましても期待しております。

□ IT関連事業の展望についてお願いします

A 株式会社アイ・キューが運営する人事・労務ナビ「日本の人事部」の売上高は前年同期比144%という成長を遂げました。主力商品である「人材バンクネット」と比べると、これからの商品と言えますが、2009年3月に登録会員を対象にした人事イベント「HRカンファレンス by 日本の人事部」を企画したところ、イベント告知初日に定員数を超える参加申込があり、同サイトへの注目、評価の高さを改めて感じるとともに、ネット以外でのビジネスモデルの創出という点でも可能性を感じる事ができました。

今後は、各サイトにつきまして主要顧客である人材紹介各社のニーズに対応したサービスの充実や会員数拡大の取り組みを引き続き強化してまいります。一方、今回のイベントのように会員情報を活かした新たなビジネスモデルの模索にも注力したいと考えております。

最後に株主様へのメッセージをお願いいたします

2008年度を終え、一部では景気の底入れが始まったとの声もありますが、総じて景況、雇用情勢は今なお厳しい状況にあります。しかし、「人材・情報ビジネスを通じて社会に貢献する」という事業理念の実現に向け、従来のビジネスモデルを見直し、思い切った改革を行うには、業績が良い時よりも今この時期が最適と考えております。上場以来、初となる赤字決算の経験を糧に、全社員が一人となり真摯に努力を続けることで業績回復、そして世の中に必要とされる企業としての足場を固めてまいります。

(株)アイ・キュー

「HRカンファレンス by 日本の人事部」開催

2009年3月2日、アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ49階)におきまして、人事・労務のお役立ちウェブサイト「日本の人事部」の会員を対象としたイベント、「HRカンファレンス by 日本の人事部」を開催いたしました。

500名を超える事前応募のため急遽抽選し、当日は上場企業人事担当を中心とした116名の会員を迎えて、「社員のモチベーションをUPさせる人事戦略とは」をテーマとした講演のほか、人事担当者同士の情報交換会等を実施いたしました。

参加者からも「今後の研修検討の良い材料として参考になった」、「他の参加者とご縁ができたことは、今後の大きな財産になった」等、高い評価を多数いただきました。



(株)クイック

**「転職×天職」、著名人によるコラム拡充で
転職希望登録者が順調に増加**



自社運営サイト「転職×天職」の戦略的プロモーションの一環として、ビジネスパーソンが関心を持つ転職・キャリア・業界情報を著名人のコラム形式で提供しました。こうした取り組みにより、アクセス数・新規転職希望登録者数が順調に増加いたしました。

(株)クイック

**新卒採用活動のためのサポートツール
採用マーケティングサーベイ「Entry9」を発売**

新卒採用を行う各企業の「学生の本音が知りたい」という声に応え、採用マーケティングサーベイ「Entry9」を2008年11月に発売いたしました。

説明会に参加した学生の価値観や応募動機の強弱等を測定・分析し、企業が求める人材を採用するまでのシナリオを提案、サポートすることで、採用コンサルティング企業としてのブランドをより高めてまいります。



(株)クイック

**職場活性化のためのサポートツール
心の状態診断プログラム「Mind Checkup」を発売**

今や社会問題になりつつあり、重要な経営課題の一つでもある社員のメンタルヘルス問題に着目し、心の状態診断プログラム「Mind Checkup」を2009年1月に発売いたしました。

診断結果を活用することでメンタルヘルス問題の予防につながるほか、社員がいきいきと活躍できる職場づくりの方向性を定める上でも役立つ商品となっております。



(株)ケー・シー・シー

**双方向型コミュニティサイト
エリアブログを北陸・新潟各県にてオープン**

「地域にもっとお役に立つ、ユーザーにもっと使い易い、もっと楽しい!」をテーマに、2008年9月に生活者参加型双方向ローカルコミュニティサイト「エリアブログ金沢」、「エリアブログ富山」、「エリアブログ福井」、「エリアブログ新潟」をオープンいたしました。ブログを通じて、その地域に暮らす人たちと顧客企業、そしてケー・シー・シーが結びつき、対話の中で生まれる新たなニーズにマッチした企画や商品を提供していくことで、ユーザー及び顧客企業からの高い支持を目指します。



(株)ケー・シー・シー

**フリーマガジンと完全連動した総合求人サイト
「オシゴトパーク」オープン**



主力商品である生活情報誌「金沢情報」、「富山情報」、「新潟情報」に掲載された求人情報を完全網羅した総合求人サイト「オシゴトパーク」を、2009年1月にオープンいたしました。より多くの方々に紙面における情報提供だけでなく、ネット・モバイルにおいても幅広く求人情報を提供することで、顧客企業の採用活動と仕事を探す求職者の双方の満足度向上を目指します。

(株)ケー・シー・シー

**北陸・新潟に特化した求人サイト
「ジョブステnet」オープン**



営業エリアにおける転職活動のネット化の波を受け、北陸・新潟に特化した成果報酬型求人サイト「ジョブステnet」を、2008年12月にオープンいたしました。優良企業の求人情報に加え、企業からオファーが届くスカウト機能や就職祝い金など様々なサービスメニューで転職をサポートいたします。また、2009年2月には「ジョブステnet モバイル」もオープンし、利便性の高いサービスで転職希望者をバックアップいたします。

クイックグループ

CSR活動に取り組んでいます!

富山県旧・平村(現・南砺市相倉)の当社グループ「平村研修所」は、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として世界遺産に登録されています。研修所は新入社員研修等に利用しており、春には大掃除や建物の修繕、田植え、秋にはボランティアを募り集落ぐるみの茅刈りにも参加する等、景観や構築物の保護・保存に協力しております。また、当社グループのCSR活動の様子は、クイックホームページでもご覧いただけます。



リクルーティング広告事業

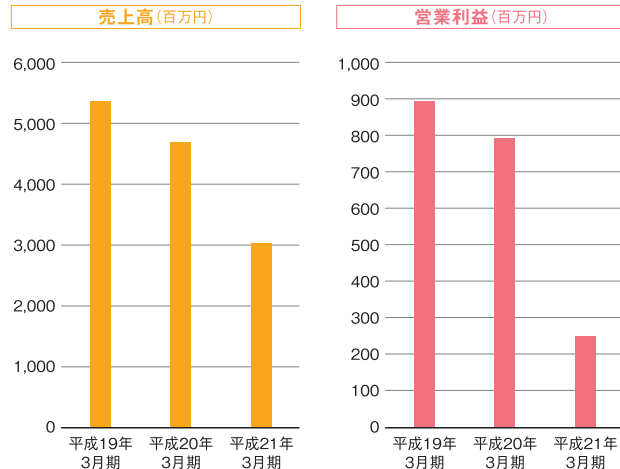
景況悪化に伴い求人広告市場が急速に縮小
新商品の投入による新たなブランド構築に着手

リクルーティング広告事業におきましては、景況の悪化に伴う企業の雇用状況見直しや採用抑制の動きを受け採用広告の売上高が落ち込みました。一方、採用意欲が旺盛な企業では、一度の広告掲載で採用を成功させるケースが数多く見られ、継続的な広告活用機会が減少したことも受注減少の一因となりました。

こうした中、新卒採用活動の質を高めるための採用マーケティングサーベイ「Entry9」や、職場の活性化に向けた心の状態診断プログラム「Mind Checkup」といった新商品を投入いたしました。これらの採用・組織コンサルティング商品の投入により、採用広告の提案だけでなく、顧客企業の抱える採用、組織に関する課題解決のための幅広いサービスを有するコンサルティング企業としてのブランド構築にも取り組みました。

この結果、リクルーティング広告事業の売上高は3,022百万円、営業利益は247百万円となりました。

■リクルーティング広告事業 業績推移



情報出版事業

事業の再構築が進行し、損失額が縮小

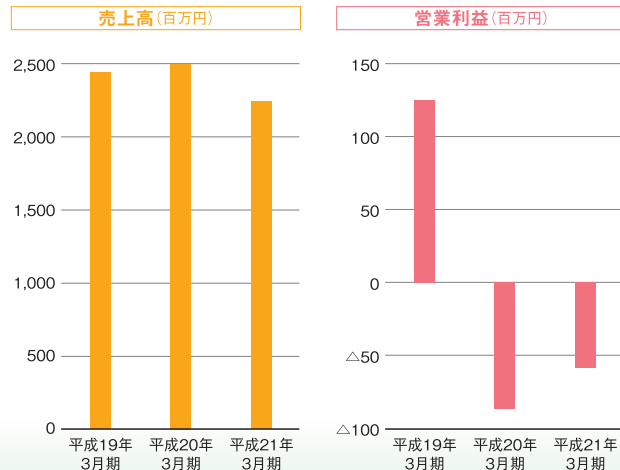
情報出版事業におきましては、主力商品である北陸各地域の生活情報誌をはじめ、既存の情報誌の多くが景気低迷や企業間競争により苦戦を続ける中、年度後半からのさらなる景況悪化により生活情報誌を下支えしてきました人材採用及び住宅・不動産関連の広告売上高が伸び悩みました。

こうした中、従来から取り組んできました各媒体の制作費の見直しに加え、発行媒体や各拠点の人員配置の見直し、各種経費の削減を進める等、収益の改善に努めました。

一方、成果報酬型求人サイト「ジョブステネット」、配布地域外の方にも生活情報誌内の全ての求人情報を提供する「オシゴトパーク」、ブログを通じた地域とのネットワーク形成をサポートするエリアブログを新たにオープンさせ、情報誌という枠組みに捉われず顧客満足度の向上と地域密着型のコンサルティング企業としての足場固めに取り組んでおります。

この結果、情報出版事業の売上高は2,250百万円、営業損失は56百万円となり、前年度と比べ損失が縮小いたしました。

■情報出版事業 業績推移



人材サービス事業

I.人材紹介事業

「転職×天職」への新規登録者数、アクセス数は順調に増加も企業の採用抑制の動きを受け、売上高は前年度並に

人材紹介事業におきましては、年度前半は業界・業種に細分化した営業組織体制や、自社運営サイト「転職×天職」のコンテンツ充実、効果的なプロモーションの取り組みが奏功し、業績は順調に推移いたしました。しかし、年度後半からの世界的な景況失速を機に、これまで業績の牽引役となってきた製造業界のほか、外資系企業や金融業界等で、顧客企業の中途採用抑制の本格化、採用基準の厳格化が進んだことから業績が伸び悩み、売上高は前年度と比べほぼ横ばいとなりました。

II.人材派遣・紹介予定派遣事業

エリアごとの独自の営業展開は堅調に推移するも年度後半からの企業の雇用調整を受け減収に

人材派遣・紹介予定派遣事業におきましては、エリアごとの得意分野に注力する営業体制が奏功し、第3四半期までは東海地域のIT周辺業務や北陸地域の医療・福祉系業務の一般派遣を中心に、業績は堅調に推移しておりました。しかし第4四半期以降は、景況悪化による新規需要の大幅な減少、顧客企業による雇用調整の動き、さらにこれに伴う派遣業界自体のイメージダウンにより事業環境が厳しさを増し、減収となりました。

IT関連事業

主力商品の「人材バンクネット」が苦戦する中、
新たな試みにも着手

人材紹介会社の集合サイト「人材バンクネット」につきましては、主要顧客である人材紹介各社が景況悪化の影響を受け、登録者獲得のための広告投資抑制の動きに転じたことから、特に年度後半にかけて苦戦を強いられました。

一方、人事サービス会社の営業支援サイト「日本の人事部」は、会員数やページビュー数の伸びとともに、売上も順調に推移し、会員向けの新たな取り組みとして、人事・労務ノウハウの共有や人事担当者同士のネットワーク形成をサポートするイベント「HRカンファレンス by 日本の人事部」を開催いたしました。

この結果、IT関連事業の売上高は723百万円、営業利益は59百万円となりました。

III.海外事業

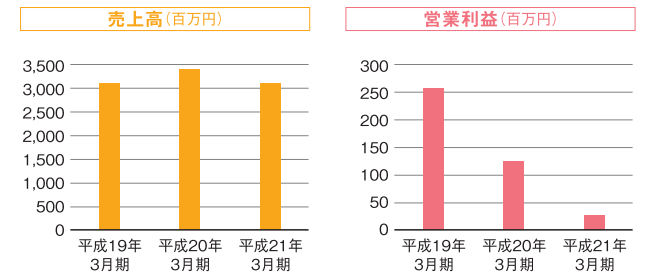
アメリカではロサンゼルス支店が、中国では人事労務サービスが着実に成長

QUICK USA, INC.におきましては、ロサンゼルス支店の一般派遣サービスが順調に拡大いたしました。人材紹介サービスにつきましては米国国内の景況後退を反映して苦戦いたしました。

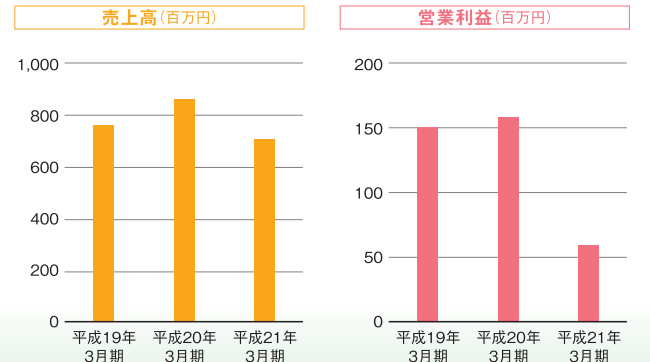
また、上海クイックマイツ有限公司におきましては、人事コンサルティング事業が順調に成長し業績を牽引いたしました。

この結果、人材サービス事業の売上高は3,114百万円、営業利益は25百万円となりました。

■人材サービス事業 業績推移



■IT関連事業 業績推移



連結貸借対照表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	(単位:百万円)		
	前連結 会計年度 (平成20年3月31日)	当連結 会計年度 (平成21年3月31日)	対前年比 (増減)
【資産の部】			
流動資産	2,582	2,023	△ 559
現金及び預金	1,126	1,120	△ 5
受取手形及び売掛金	1,202	718	△ 483 1
有価証券	40	40	0
繰延税金資産	104	16	△ 87 2
その他	111	127	16
貸倒引当金	△ 1	△ 1	0
固定資産	1,407	1,178	△ 228
有形固定資産	781	699	△ 81
建物及び構築物	437	370	△ 66
器具及び備品	32	17	△ 14
土地	311	311	—
無形固定資産	93	32	△ 60
投資その他の資産	532	447	△ 85
投資有価証券	83	71	△ 11
繰延税金資産	85	18	△ 67 2
敷金	303	293	△ 9
その他	73	78	4
貸倒引当金	△ 13	△ 15	△ 1
資産合計	3,989	3,202	△ 787

■ポイント解説

- 1 売上高の減少(対前年比2,325百万円減)によります。
- 2 回収可能性を慎重に検討した結果、保守的な観点から、取崩しを行いました。
- 3 広告掲載費(仕入費用)の減少によります。
- 4 長期借入れ(400百万円)の実行によります。
- 5 当期純損失の計上(△478百万円)、および剰余金の配当(△124百万円)によります。
- 6 自己株式(35万株)の取得によります。

	(単位:百万円)		
	前連結 会計年度 (平成20年3月31日)	当連結 会計年度 (平成21年3月31日)	対前年比 (増減)
【負債の部】			
流動負債	1,487	1,070	△ 417
買掛金	598	280	△ 318 3
短期借入金	115	141	26
1年内返済予定の長期借入金	—	79	79 4
未払金	368	259	△ 108
未払法人税等	42	21	△ 20
賞与引当金	136	80	△ 55
その他	228	207	△ 20
固定負債	45	318	273
長期借入金	—	282	282 4
その他	45	36	△ 8
負債合計	1,533	1,389	△ 143
【純資産の部】			
株主資本	2,447	1,823	△ 623
資本金	351	351	—
資本剰余金	271	271	—
利益剰余金	1,824	1,221	△ 602 5
自己株式	—	△ 21	△ 21 6
評価・換算差額等	△0	△ 19	△ 19
少数株主持分	9	8	△ 1
純資産合計	2,456	1,812	△ 643
負債純資産合計	3,989	3,202	△ 787

連結損益計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	対前年比 (増減)
売上高	11,435	9,110	△ 2,325 7
売上原価	6,285	4,793	△ 1,492
売上総利益	5,150	4,316	△ 833
販売費及び一般管理費	4,783	4,451	△ 331 8
営業利益又は営業損失(△)	366	△ 134 9	△ 501
営業外収益	42	44	2
営業外費用	9	18	9
経常利益又は経常損失(△)	400	△ 107 9	△ 508
特別利益	119	3	△ 115
特別損失	19	171	151
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	500	△ 275	△ 775
法人税、住民税及び事業税	124	47	△ 76
法人税等調整額	69	155	85 10
少数株主利益	1	0	△0
当期純利益又は当期純損失(△)	305	△ 478 9	△ 784

連結キャッシュ・フロー計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	対前年比 (増減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	32	△ 160	△ 192 11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 243	22	265
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 249	244	494 12
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△ 11	△ 10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 461	94	556
現金及び現金同等物の期首残高	1,498	1,036	△ 461
現金及び現金同等物の期末残高	1,036	1,131	94

■ポイント解説

- 7 事業別では、対前年比でリクルーティング広告事業1,676百万円、人材サービス事業255百万円、情報出版事業247百万円、IT関連事業146百万円減少しました。
- 8 主なものは対前年比で、人件費105百万円、採用費44百万円、広告宣伝費42百万円、交通費30百万円削減しました。
- 9 売上高の大幅減少により経費削減に努めましたが、営業利益以下が平成13年(2001年)の上場来初の赤字となりました。(本決算ベース)
- 10 繰延税金資産の取崩しにより、法人税等調整額(税金費用)が増加しました。
- 11 主な要因は、税金等調整前当期純損失△275百万円の計上によります。
- 12 主な要因は長期借入れ400百万円の実行によります。

連結株主資本等変動計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日 残高	351	271	1,824	—	2,447	0	△0	△0	9	2,456
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 124		△ 124					△ 124
当期純損失			△ 478		△ 478					△ 478
自己株式の取得				△ 21	△ 21					△ 21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 2	△ 16	△ 19	△ 1	△ 20
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 602	△ 21	△ 623	△ 2	△ 16	△ 19	△ 1	△ 643
平成21年3月31日 残高	351	271	1,221	△ 21	1,823	△ 2	△ 17	△ 19	8	1,812

前連結会計年度 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日 残高	350	271	1,721	△ 69	2,273	3	1	4	8	2,287
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	0	0			1					1
剰余金の配当			△ 133		△ 133					△ 133
当期純利益			305		305					305
自己株式の消却		—	△ 69	69	—					—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 3	△ 1	△ 5	1	△ 3
連結会計年度中の変動額合計	0	0	102	69	173	△ 3	△ 1	△ 5	1	169
平成20年3月31日 残高	351	271	1,824	—	2,447	0	△0	△0	9	2,456

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

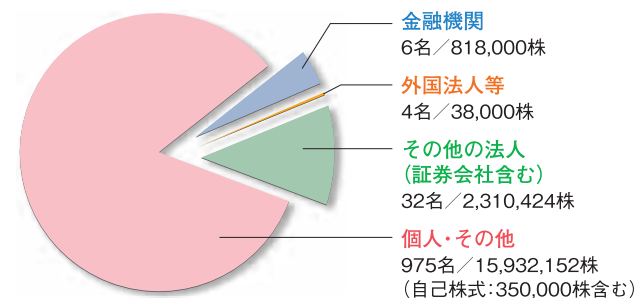
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	19,098,576株
	※自己株式350,000株を含みます。
株主数	1,017名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
和納 勉	4,886,152株	26.06%
(有)アトムプランニング	1,368,416株	7.29%
中島 宣明	1,151,304株	6.14%
クイック従業員持株会	1,016,112株	5.41%
大善 彰総	615,000株	3.28%
大善 磨世子	590,000株	3.14%
倉地 國明	565,000株	3.01%
(株)三菱東京UFJ銀行	378,000株	2.01%
(株)リクルート	280,000株	1.49%
和納 妙子	262,144株	1.39%

※出資比率は、自己株式を除いて計算しております。
※上記のほか、当社保有の自己株式350,000株があります。

所有者別株式分布



会社データ (平成21年3月31日現在)

商号	● 株式会社クイック
英文社名	● QUICK CO.,LTD.
設立	● 昭和55年9月
事業内容	● 総合人材サービス業
資本金	● 3億5,131万円
従業員数	● 598名(グループ合計、臨時雇用社員含む)
所在地	● 〒531-0071 大阪市北区中津1-11-1 中津センタービル TEL/06-6375-0061 FAX/06-6371-7429
事業所	● 大阪、東京、横浜、名古屋
取引先	● 全国主要企業約80,000社
連結子会社	● 株式会社アイ・キュー 株式会社ケー・シー・シー 株式会社キャリアシステム 株式会社クイック・エリアサポート QUICK USA,INC. 上海クイックマイツ有限公司

役員の状況 (平成21年6月19日現在)

代表取締役社長	和納 勉
専務取締役	中島 宣明
常務取締役	藤原 功一
取締役	中井 義貴
取締役	横田 勇夫
取締役	平田 安彦
取締役	林 城
社外取締役	木村 昭
常勤監査役	大西 伸
社外監査役	村尾 考英
社外監査役	斉藤 誠